

防犯カメラ AHD・CVI・TVI・アナログCVBS
4INマルチシステム対応型



【P24】-「5ビデオ設定」で本機の規格・仕様（AHD・アナログCVBS等）を変更出来ます。

取扱説明書

2019年10月初版
(設置工事説明書付)

AHD・CVI・TVI アナログCVBS	1080P（200万画素） / 720P（92万画素）対応 960H（46万画素）対応
-------------------------	--



ドーム型
ES-CD600HW/V

筒型
ES-CW699HW/V



この度は当社製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
当取扱説明書をよくお読み頂き、正しく安全にご使用下さい。
取扱説明書内に記載しております電気安全事項は遵守して下さいます
よう、お願い申し上げます。
この取扱説明書は、保証書と一緒に大切に保管して下さい。



【P24】-「5ビデオ設定」で本機の規格・仕様（AHD・アナログCVBS等）を変更出来ます。

目次

1.	安全上のご注意（必ずお守り下さい）	3
2.	同梱付属品	3
3.	商品概要	4
4.	配線全体接続例	4
5.	配線ケーブルご使用の際のご注意	8
6.	設置工事（準備編）	9
7.	設置工事（赤外線LEDと投射距離）	10
8.	設置工事（カメラの設置場所について）	11
9.	設置工事・角度調整・バリフォーカルレンズ調整（筒型：ES-CW699HW/Vの場合）	12
10.	設置工事・角度調整・バリフォーカルレンズ調整（ドーム型：ES-CD600HW/Vの場合）	15
11.	設置工事（応用編・プルボックス施工）	18
12.	設置工事（ケーブル接続・処理方法）	21
13.	レコーダーで本機を録画するときの注意点	22
14.	本機画素数とモニター画素数	22
15.	カメラ設定	23
 <u>【P24】-「5ビデオ設定」で本機の規格・仕様（AHD・アナログCVBS等）を変更出来ます。</u>		
16.	カメラ外観図	25
17.	カメラ仕様	26
18.	アフターサービスについて	27

1. 安全上のご注意（必ずお守り下さい）



警告事項

- ① 設置工事は電源工事が必要な場合もありますので、工事業者が行って下さい。
- ② 異常が見られた場合には、全ての電源（コンセントを抜く等）を遮断して触れないようにして下さい。放っておきますと、火災の原因になります。
- ③ 分解しないで下さい。機器内部に人体が触れると感電する可能性があります。
- ④ 水気・湿気の多い場所に置かないで下さい。
- ⑤ 濡れた手で触れないで下さい。感電・火災の原因になります。
- ⑥ 設置工事の際、筐体・躯体へ止める場合は必ず決められた部材（アンカー・コンクリートビス等）で設置して下さい。落下の原因になります。
- ⑦ 雷の際の工事は直ちに中止して下さい。また、配線には一切触れないで下さい。
- ⑧ コード・ケーブル類の破損の恐れがある場所への配線は避けて下さい。
- ⑨ 電源プラグは確実に差し込んで下さい。また、定期的にプラグの清掃をお願い致します。



禁止事項

- ① 専用アダプタへの電源は必ずAC100Vを接続して下さい。
- ② 機器へは必ず決められた電源を供給して下さい。
- ③ ケーブル類は必ず決められた太さのケーブルを使用して下さい。感電・火災の原因になります。
- ④ 仕様表に基づく使用環境を遵守して下さい。

2. 同梱付属品

▼ 筒型：ES-CW699HW/V

- ① カメラ本機 1 台
- ② カールPCプラグ（緑色の部材） 3 本
- ③ 木ネジ 3 本
- ④ 角度調整用六角レンチ 1 本
- ⑤ 取扱説明書 1 冊
- ⑥ 製品保証書 1 通

▼ ドーム型：ES-CD600HW/V

- ① カメラ本機 1 台
- ② カールPCプラグ（緑色の部材） 3 本
- ③ 木ネジ 3 本
- ④ 取扱説明書 1 冊
- ⑤ 製品保証書 1 通



電源アダプタ、ケーブル関連は別売りです。

レコーダーとのセット商品の場合は、ケーブル・アダプタが付属します。

3. 商品概要

監視・防犯カメラ 暗視・防滴防雨・赤外線暗視機能搭載型カメラです。

主にご家庭・小規模店舗、及び商店様向けです。

防犯カメラの映像規格・仕様で

AHD・CVT・TVI	200万画素（1080P） 及び 720P（92万画素）
アナログCVBS	46万画素（960H）

に対応しておりますので、接続先のレコーダーに合わせて設定で規格・仕様変更が出来ます。

また、色合・輝度などの調整・設定機能もありますので、マルチに対応できるカメラです。

※ ご購入時、ネット販売上でのお客様ご希望の規格・仕様で設定して出荷しております。

4. 配線全体接続例

! ケーブル選定のポイント

カメラ1台に対し、電源ケーブル・映像ケーブルが必要です。

ケーブルの種別は、以下の種類・対応規格があります。

ケーブル種別	本機対応規格・仕様				特徴
	AHD	CVI	TVI	アナログCVBS	
①電源・映像一体型ケーブル20m	○	○	○	○	電源・映像ケーブルが見た目上同じ・1本になっています。線が細い為、信号減衰が多いです。
②電源・映像一体型ケーブル40m	×	×	×	○	
③電源ケーブル（単線AE0.9-2C）	○	○	○	○	電源・映像ケーブルが上記と異なり、別々で線が太いので耐久性良・信号減衰少ないです。
④映像ケーブル（3C-2V）					

○：使用可 、 ×：使用不可

※③④はセット必須です。

ケーブル型番

①電源・映像一体型ケーブル20m ES-2C2V20

②電源・映像一体型ケーブル40m ES-2C2V40

③電源ケーブル（単線AE0.9-2C） ES-AEシリーズ 200mまで切売販売

④映像ケーブル（3C-2V） ES-3Cシリーズ 100mまで切売販売

※映像ケーブルで101m以上の場合はES-5Cシリーズをお求め下さい。

上記に注意してケーブル選定を行って下さい。

ケーブル選定詳細は「5. 配線ケーブルご使用の際のご注意」【P.8】で記載しております。

●配線・接続例1

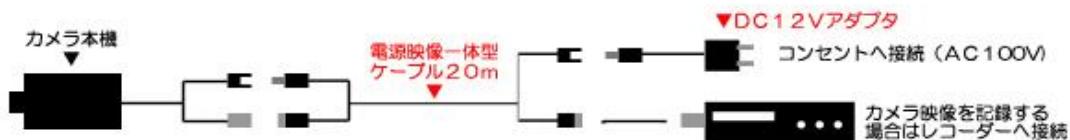
●配線・接続例1

●一体型ケーブルを使用し、モニター側にコンセントがある場合

※一体型ケーブルは20m以上（アナログCVBSは40mまで可）の長さのものは使用出来ません。

20m以上の長さになる場合は

- ・映像線（3C-2V以上）
 - ・電源線（芯線太さ0.9mm以上）
- をご利用ください。



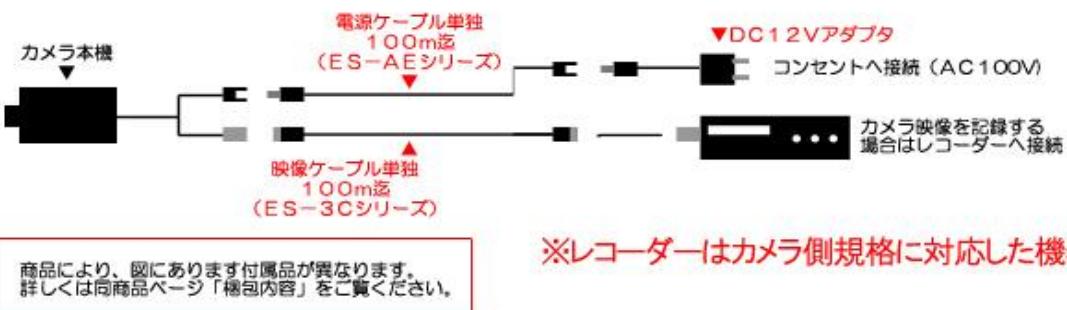
商品により、図にあります付属品が異なります。
詳しくは同商品ページ「梱包内容」をご覧ください。

※レコーダーはカメラ側規格に対応した機器

● 配線・接続例2

●配線・接続例2

●ケーブルの長さが21m～100mの場合且つコンセントがモニター側にある場合

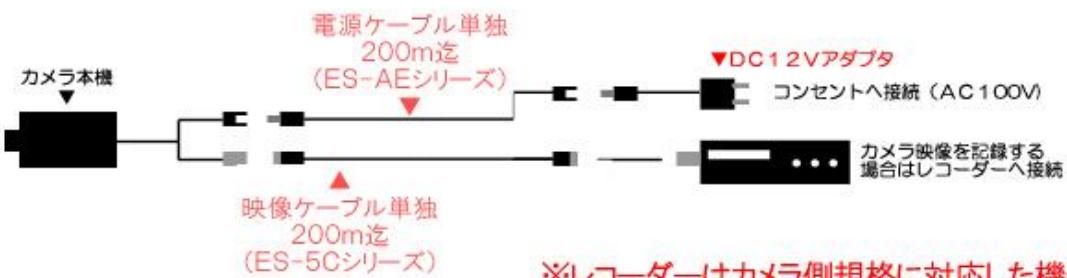


※レコーダーはカメラ側規格に対応した機器

● 配線・接続例3

●配線・接続例3

●ケーブルの長さが101m～200mの場合且つコンセントがモニター側にある場合



※レコーダーはカメラ側規格に対応した機器

商品により、図にあります付属品が異なります。
詳しくは同商品ページ「梱包内容」をご覧ください。

● 配線・接続例4

●コンセントがカメラ直近にある場合



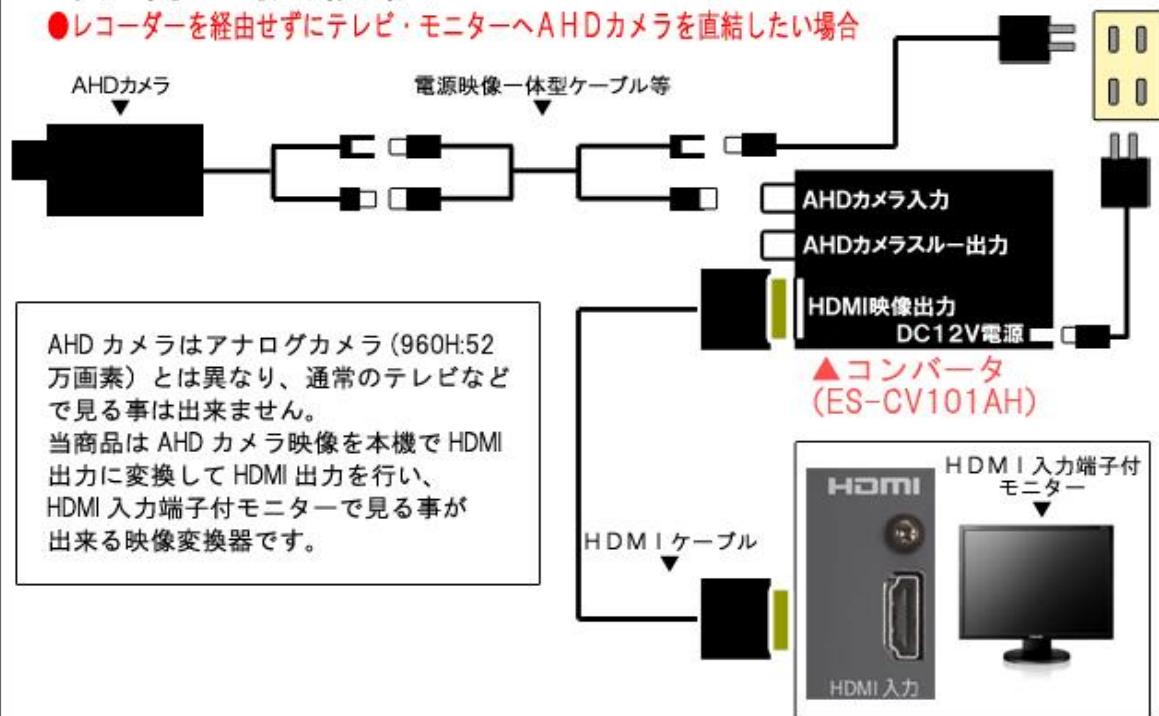
商品により、図にあります付属品が異なります。
詳しくは同商品ページ「梱包内容」をご覧ください。

※レコーダーはカメラ側規格に対応した機器

● 配線・接続例5

●AHDカメラでTV単独接続の場合の
配線・接続例

●レコーダーを経由せずにテレビ・モニターへAHDカメラを直結したい場合



AHD カメラはアナログカメラ(960H:52万画素)とは異なり、通常のテレビなどでは見る事は出来ません。
当商品は AHD カメラ映像を本機で HDMI 出力に変換して HDMI 出力をを行い、HDMI 入力端子付モニターで見る事が出来る映像変換器です。

5. 配線ケーブルご使用の際のご注意

① 電源映像一体型ケーブルの使用条件

電源映像一体型ケーブルは

- ・ AHD・CVI・TVIの場合 20mのみ（21m以上の一体型ケーブルは使用出来ません）
- ・ アナログCVBSの場合 20mまたは40mをジョイント（一体型ケーブル同士継ぎ足し接続）なしで1本迄になります。

② 映像ラインのケーブル選定

ケーブル長	1m～20m		21m～40m		41m～100m		101m～200m	
カメラ種別	AHD他	アナログ	AHD他	アナログ	AHD他	アナログ	AHD他	アナログ
一体型ケーブル	○	○	×	○	-	-	-	-
同軸ケーブル3C	○	○	○	○	○	○	×	×
同軸ケーブル5C	○	○	○	○	○	○	○	○

○：使用可

×：使用不可（ノイズ・信号減衰の可能性がある為）

※ 同軸ケーブルのインピーダンスは75Ωで種類はFB・2Vどちらでも可。

③ 電源ラインのケーブル選定

ケーブル長	1m～20m		21m～40m		41m～100m		101m～200m	
カメラ種別	AHD他	アナログ	AHD他	アナログ	AHD他	アナログ	AHD他	アナログ
一体型ケーブル	○	○	×	○	-	-	-	-
2芯・太さ0.9mm	○	○	○	○	○	○	○	○
2芯・太さ1.2mm	○	○	○	○	○	○	○	○

○：問題ない。

×：電圧ドロップにより、カメラに十分電圧供給出来ない可能性がある。

※ 電源ラインで一体型ケーブル以外には、HP,CPEV,AE,OP線等。

 電源ラインのケーブルにおいて、0.9mm以下の使用は避けて下さい。
※0.9～1.2mm推奨

④ 共通の注意事項



- ① 配線するケーブル線種の長さは、上記表を遵守して下さい。
- ② カメラから機器側末端まで、ケーブルのジョイントは極力避けて下さい。
- ③ ケーブルは強電ラインと確実に離して配線を行って下さい。
- ④ 一体型ケーブル以外を使用する場合は、カメラ側・機器側に合うコネクタを別途、お客様にて調達する必要があります。

⑤ 一体型ケーブル以外を配線した場合の、必要なコネクタ類

- 映像ライン（同軸ケーブルの場合）はインピーダンス75ΩのBNCコネクタ

1) 同軸ケーブルは3C-FBの場合は3C用圧着式コネクタ

当社型番：BNC-3C

但し、コネクタを取り付けるには専用の圧着工具が別途必要です。

- 電源ライン（2芯ケーブルの場合）は以下の2点

1) DC12Vケーブルサキバラ用コネクタ/メスジャック・ネジ締式取付 当社型番：ES-DCP55JM

2) DC12Vケーブルサキバラ用コネクタ/オスプラグ・ネジ締式取付 当社型番：ES-DCP55PO

6. 設置工事（準備編）

- カメラの設置位置を決める為、設置予定箇所に仮設（手で持つ等）して実際にモニタリングして下さい。
- 下記②にてカメラ固定が出来るかどうか、設置面に入線口用の開口が出来るかどうかの確認をする必要があります。
- 電源周波数50Hz地域（東日本）は照明直下・直近でチラつきが発生する恐れがあります。極力照明から離し、且つ極力照明が画像内に入らないよう、角度調整して下さい。
- 本機は機種により、カメラと被写体との直線距離目安があります。
これは顔などの証拠能力として捉えられる目安範囲（当社にてお勧め値・目安値）です。
 - ・ パリフォーカルレンズ 手動調整可能なので2m～15m

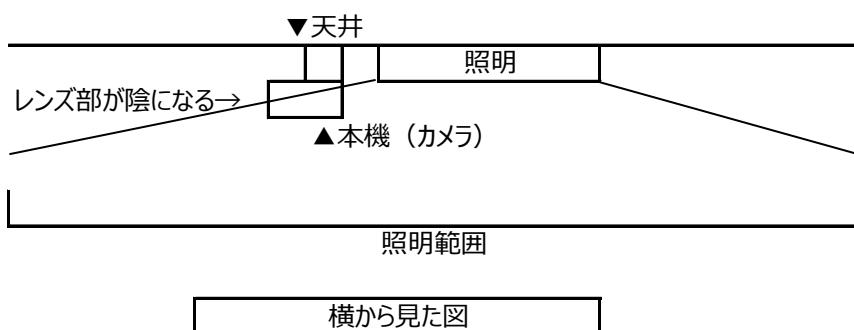
これを1つの目安として設置位置を検討して下さい。
- 屋外・屋内の設置可能です。

7. 設置工事（赤外線LEDと投射距離）

本機は周辺が暗くなるとレンズ部周辺の赤外線LEDが作動して、照明がない場所でも被写体を白黒で映し出す事が出来ます。

但し、以下の条件があります。

- ① 赤外線LEDの照射距離目安は、
 - ・ 筒型：ES-CW699HW/V 15m
 - ・ ドーム型：ES-CD600HW/V 10m
- ② 映像で捉える事の出来る条件は、上記照射距離内に被写体が有る場合で、本機から照射する赤外線を被写体が浴びる事が必須です。
従って、照射距離外または赤外線を浴びる事が出来ない空間（景色など）は捉える事が出来ません。
- ③ 本機前面にガラスなどの反射する要素がある状態で赤外線LEDが作動（点灯）した場合、赤外線LEDがガラスに反射して、映像が不鮮明または確認出来ない状態になります。
- ④ 明るい場所でも以下のような条件の場合、赤外線LEDが作動して映像が白黒になる場合があります。



- ⑤ 照明の色が通常の蛍光色以外で周囲が明るい場合でも、赤外線LEDが作動して映像が白黒になる場合があります。
- ⑥ メインとなる被写体に補助的にセンサーライトなどの照明を夜間に照射した場合、本機がその光を拾って、赤外線LEDが作動しない場合があります。
この場合、被写体を鮮明に捉える事が出来ない可能性があります。
補助照明がある場合は、必ず夜間時に赤外線LEDが作動するか確認を行って下さい。
被写体をイメージ通りに捉える事が出来ているか、画像で確認する必要があります。
- ⑦ カメラレンズ部（ガラス面内側）は輝度センサーが内蔵され、このセンサーで明るさ・暗さを検知して赤外線ON・OFFを制御しています。カメラレンズ部（ガラス面）は塞がないようにして下さい。
塞いだり障害のあるようなもので光が遮られたりすると、赤外線LEDが正常に作動しません。

8. 設置工事（カメラの設置場所について）



ポイント

複数の項目で設置条件や注意点を記載しておりますが、本項はさっと目を通す程度に留め、本設前に本機を手で持って設置デモ（確認）を行い、弊害がなければ本設という流れが一番円滑に設置工事が進みます。

本機は設置する周囲の環境により、設置可能・設置禁止場所があります。

① 設置可能場所

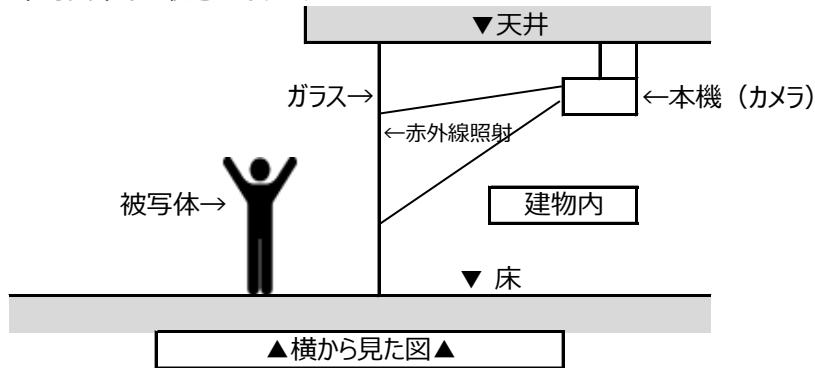
- 屋外（雨晒し環境可能）
- 屋内（粉塵が多い場所も可能）

② 設置不可場所

- 設置個所気温が別項仕様書記載の「使用温度範囲」の範囲外の気温の場所。
- 湿度が「90%以上」になる環境。または通常使用環境範囲を明らかに逸脱している環境。
- 冷凍庫、サウナ、スチーム室、浴室など上記・禁止気温及び湿度になる可能性がある場所。
- 海水が直接かかるような場所（本機は塩害仕様ではありません）。
- 本機設置個所と照明機器（蛍光灯・水銀灯など）との間隔が50cm以内になるような場所。
(照明機器とは50cm以上離して設置して下さい。映像上に発生するノイズの原因になります)

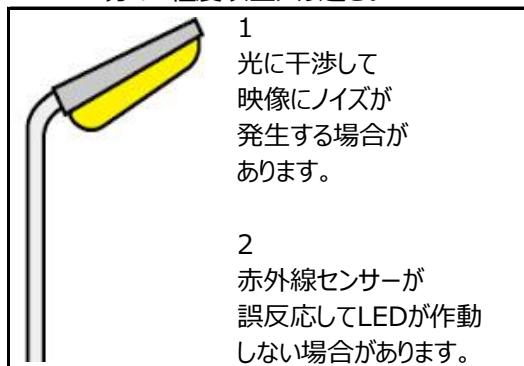


- 以下の設置環境且つ赤外線LEDが作動（点灯）した場合、赤外線LEDがガラスに反射して、映像が不鮮明または確認出来ない状態になります。



- ライブ映像の中に照明の光源が入りそうな場所。

例1： ライブ映像上に外灯光源部分が
4分の1程度以上入り込む。



例2： ライブ映像上に外灯光源部分が
ライブ映像中心に来る場合。



共通事項ですが、映像上に1点光が強い点があると
周りの被写体が黒くなる特性があります。

設置後は必ず本機の映像を確認して下さい。

映像は、



ご注意

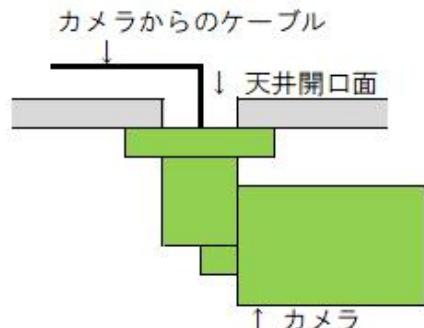
- 赤外線暗視LEDが作動していない日の映像
 - 赤外線暗視LEDが作動している夜間の映像
- の2点を必ず確認して下さい。

鮮明ではない、またはイメージと異なる場合は、
本機設置位置の再検討をして下さい。

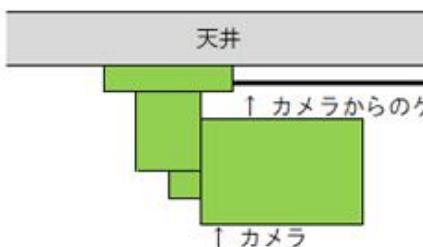
9. 設置工事・角度調整・バリフォーカルレンズ調整（筒型：ES-CW699HW/Vの場合）

●設置工事・STEP1

カメラから出ているケーブルの逃がし方を検討してください。



このように天井裏へ
ケーブルを逃がせる
場合 → 予め天井面に30mm
程開口してください。



このように天井裏へ
ケーブルを逃がせない
場合 →



●設置工事・STEP2

取付ベース部の取付穴から
止め部材（ビス等）を使ってカメラを
取り付けます。

3点のビス穴にビスを打ち込みます。



この作業時のご注意【重要】



設置面の材質により止め部材を変えてください。
尚、同梱しておりますビスは設置面が木板のみ
使用してください。
以下は材質によっての適切な止め部材例を示します。

- 石膏ボードの場合：ボードアンカー、壁ロック
- コンクリート等：コンクリートビス
(インパクト・ハンマードリル開口必要)
- 木板：同梱の木ビス他

屋外の場合の止め部材はステンレスを選定してください。
当止め穴は4 mm 3点ですのでビスの太さは3.5~4 mm が
適切です。
同梱の木ビス以外はお客様にてご調達ください。
止め部材の選定を誤りますと落下・脱落の危険性があります。

●角度調整方法

付属の六角レンチで
以下3点を緩めたり
締めたりします。



この作業はモニター映像を見ながら調整します。
なのでモニター側・カメラ側で2名作業をお勧めします。



●最後の手順

上記の3点を付属の六角レンチで確実に固く締めます。
緩いと、経年で映像の角度が変わってきてしまいます。

●バリフォーカルレンズ調整方法

▼写真1：カメラ底面部

ツマミは手で回せます。



この作業はモニター映像を見ながら調整します。
モニター側・カメラ側の2名での作業をお勧めします。



●調整する際の注意点

- 画角調整は回し切った（回るのが止まった）ところでピント調整しても、ピントは合いません。回し切って止まつたら、少し戻したところでピント調整を行ってください。
- 強い力で回さないでください。
強い力で回すと、本来回しが止まる部分を通過してしまい、調整機構が破壊されてしまいます。

- 画角が広いと
撮影範囲は広くなりますが、被写体が小さくなります。
画角が狭いと、
撮影範囲は狭くなりますが、被写体が大きく被写体の識別（顔など）がしやすくなります。
この特性を考慮して調整を行ってください。

10. 設置工事・角度調整・バリフォーカルレンズ調整（ドーム型：ES-CD600HW/Vの場合）

●設置工事・STEP1

●カバーの外し方

カメラの下記○部分3点のビスを
プラスドライバーで十分に緩めます。

カバー部とカメラとで分離出来ます。

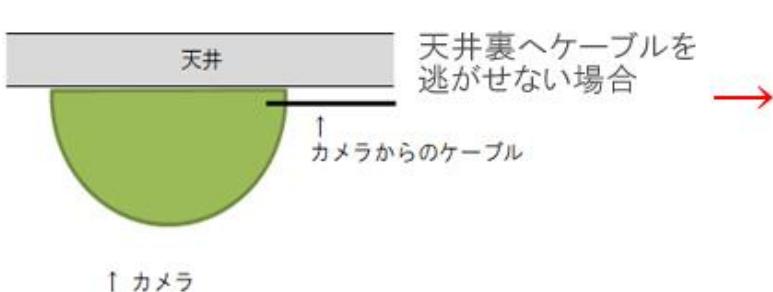


●設置工事・STEP2

カメラから出ているケーブルの逃がし方により準備が異なります。



天井面に予め30mm程度
開口しておきます。
そしてカメラから出ている
ケーブルを垂直にして開口
した穴に通します。



●設置工事・STEP3

カメラを設置面に取付ます。



この作業時のご注意【重要】

設置面の材質により止め部材を変えてください。
尚、同梱しておりますビスは設置面が木板の場合のみ
使用してください。

以下は材質によっての適切な止め部材例を示します。

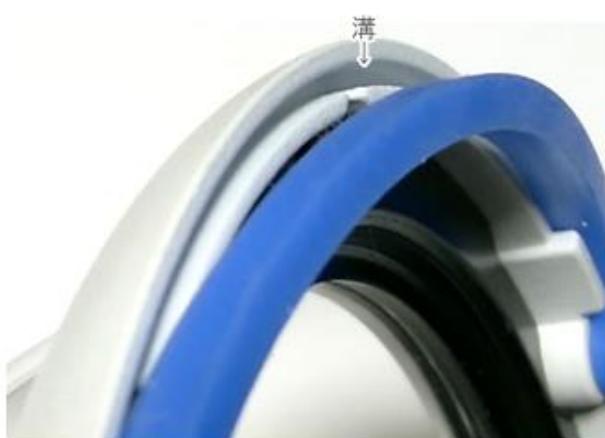
- 石膏ボードの場合：ボードアンカー、壁ロック
- コンクリート等：コンクリートビス
(インパクト・ハンマードリル開口必要)
- 木板：同梱の木ビス他

屋外の場合の止め部材はステンレスを選定してください。
当止め穴は5mm 3点ですのでビスの太さは3~4mmが適切です。
同梱の木ビス以外はお客様にてご調達ください。
止め部材の選定を誤りますと落下・脱落の危険性があります。



●設置工事・STEP4

カバーを取り付けます。 基本的にはSTEP1の逆の作業になりますが以下
ご注意点です。



カバー側に青いゴムパッキンが装着されています。
カメラ側にカバーを被せるとき、ゴムパッキンが
左写真のように外れていたりズレていたら、
再度、溝にはめ込んでください。
このゴムパッキンが正常に装着されていない場合、
水気・湿気が侵入し、故障の原因となる恐れが
あります。

●角度調整方法

①水平（左右）調整



②垂直（上下）調整



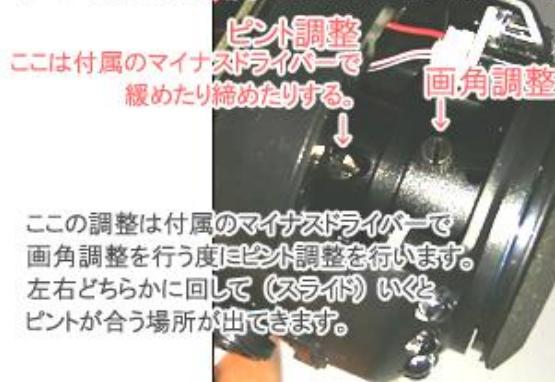
③傾き調整



●バリフォーカルレンズ調整方法

▼写真1：カメラレンズ部後面

ツマミ自体を付属のマイナスドライバーで緩めます。



レンズと正面（対面）、
させて、
左に回す（スライド）と
画角が広くなる（ズームアウト）
右に回す（スライド）と
画角が狭くなる（ズームイン）



調整する際の注意点

●画角調整は回し切った（回るのが止まった）ところでピント調整しても、ピントは合いません。回し切って止まつたら、少し戻したところでピント調整を行ってください。

●強い力で回さないでください。
強い力で回すと、本来回しが止まる部分を通過してしまい、調整機構が破壊されてしまいます。

●画角が広いと
撮影範囲は広くなりますが、被写体が小さくなります。
画角が狭いと
撮影範囲は狭くなりますが、被写体が大きく
被写体の識別（顔など）がしやすくなります。
この特性を考慮して調整を行ってください。

最後は必ずツマミ自体を付属のマイナスドライバーで締め直してください。
緩いと、経年で映像のピントが変わってきてしまします。

この作業はモニター映像を見ながら調整します。モニター側・カメラ側の2名作業をお勧めします。

11. 設置工事（応用編・プルボックス施工）

屋外設置の場合、ケーブルを隠蔽できる状態であれば心配はありませんが、ケーブルを隠蔽出来ない場合は、カメラとケーブルの接続部が露出してしまいます。

次項ではビニールテープを使用しての処理方法を記載しておりますが、本項のようにプルボックスを使用すれば接続部を完全に隠蔽出来、且つメンテナンス性にも優れています。

本項でご紹介しますのはあくまでもお勧めの施工方法です。

●プルボックス施工・STEP1

以下のようなボックスを使用します。

当社でもご用意可能です（当社加工費含・別売り）。

推奨するプルボックスは

- ボックスメーカー：未来工業
- 名称：PVK ボックス（防水タイプ）おねじキャップ付
- 製品型番：PVK-ALNPM（ミルキーホワイト）

プルボックスは当社
でも加工・組立、
付属品付で販売して
おります。

です。下記写真はボックスの図面・写真です。



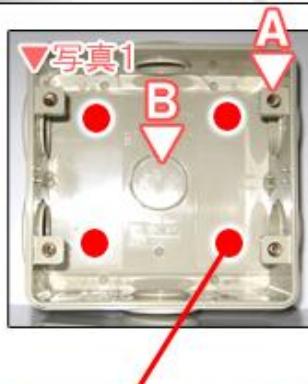
類似品はホームセンター電気材料コーナーまたはネット販売で
入手可能です。

●プルボックス施工・STEP2

このプルボックスのフタを以下のように加工します。



▼加工例
フタ側にカメラ止穴を3点と中央に30mmの入線口1点。
ステンレス鍋頭・首下30mmのビス3本
ステンレス4mm用平ワッシャー3枚
ステンレス4mmナット3個
でフタと連結します。



次にボックス内部に左写真のように5mm程度の穴を4点開けて、ボックスを設置面に固定するビス穴を作ります。

この5mm程度の穴を開ける時のポイントは、フタ・ボックス固定するA部分のネジ穴、今から開ける穴が被らないようにしてください。

設置面内側からケーブルが入る場合、Bが切込になっていますので、ドライバーなどで叩くと簡単に穴が空きます。

底面に5mm程度の穴を4点開ける。

●プルボックス施工・STEP3



前項の写真1のボックス本体をビスなどで固定します。
当社のボックス（加工済・付属品付）の場合は設置面止め部材として、

ステンレストラスタッピンビス・首下40mm 4本



※重要※



が同梱されています。

但し、設置面により、止め部材を変更する必要があります。
以下は使用例です。

石膏ボードの場合：ボードアンカー、壁ロック、パット・ITハンガー
コンクリート等の躯体：コンクリートビス、ノンプラグ

ビスの太さは4mmが適切です。

同梱のビス以外はお客様にてご調達ください。

止め部材の選定を誤りますと落下・脱落の危険性があります。

● プルボックス施工・STEP4



12. 設置工事（ケーブル接続・処理方法）

ケーブルの両端の電源コネクタ形状は異なります。

従って、ケーブルを配線する場合は、以下のようになるようお願い致します。

機器側（モニター等）
電源ラインがメスになる

カメラ側
電源ラインがオスになる



※ 左写真は一体型ケーブルを例にしておりますが、電源コネクタのメス・オスの識別は、他ケーブルでも同様です。

下記写真の接続部が屋外露出する場合、外気と水気に触れないよう、以下の写真のように接続部を電気工事用ビニールテープで保護して下さい。



▲
カメラ・一体型ケーブル
接続前

▲
カメラ・一体型ケーブル
接続後

▲
接続部をビニルテープで
厳重に保護する
※文房具テープは不可
電気工事用をご利用ください。

※電気工事用ビニルテープはホームセンターの電気材料・資材コーナーなどで安価で入手可能です。

※ 上写真は一体型ケーブルを例にしておりますが、他ケーブルでも処理方法は同様です。

13. レコーダーで本機を録画するときの注意点

① 本機設定がAHD・CVI・TVI設定の場合

レコーダーで録画する場合のエンコードは、
本機設定が【1080P】の場合はレコーダー側も【1080P】で
本機設定が【720P】の場合はレコーダー側も【720P】で
設定して下さい。

② 本機設定がアナログCVBSの場合

本機設定が【CVBS】の場合、レコーダー側は【960H】で設定して下さい。

14. 本機画素数とモニター画素数

本機画素数は52万画素または200万画素ですが、モニター側がこれを下回る画素数ですと、本機本来の画素数が保てません。

モニター表示する場合は、モニター側の画素数もご注意下さい。

15. カメラ設定

本機は明るさなどの画質調整が可能です。



左写真はカメラから出ているケーブルに装着されているコントローラーです。
本機をレコーダーなどでモニタリングしている状態で中央のボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。

※ 出荷時のメニュー表示言語は【日本語】ですが、万が一メニュー表示が【英語】だった場合、
以下の手順で【日本語】表示にして下さい。

左写真の中ボタンを1回押します。

↓

コントローラーのボタンを下に倒して、カーソルをメニュー「LANGUAGE」に合わせます。

↓

コントローラーのボタンを左に数回倒すと「日本語」になります。

↓

コントローラーのボタンを下に倒して、「保存・退出」にカーソルを合わせます。

↓

コントローラーのボタンを押して、設定を保存します。

以下は設定項目のご説明です。

① 露出

○ 明るさ 画面の明るさを調整します。 数値低・画像暗い⇒数値高：画像明るい

○ 露出 1) 光源制御 画像の光量より、自動的に見やすい輝度の画質に調整します。

2) CENTER 使用出来ません。

3) FLC 画像にちらつきが見られる場合、ちらつきを抑えます。

4) 前光補正 逆光補正が可能です。
数値低・補正弱⇒数値高：補正強

② ホワイトバランス

1) 自動ホワイトバランス 自動的にホワイトバランスを調整します。

2) マニュアル ホワイトバランス ホワイトバランスを手動調整します。

3) 階調の世界 使用出来ません。

③ デイナイト

1) 自動ホワイトバランス こちらは使用禁止です。

2) カラー 夜間など、赤外線LEDが作動するしないに関わらずカラー映像を保ちます。

3) 白黒 夜間など、赤外線LEDが作動するしないに関わらず白黒映像を保ちます。

- 4) 外部トリガー 夜間など赤外線LEDが作動した場合、映像を自動的に白黒にします。
通常はこちらを選択してください。

④ イメージ強化

- 1) コントラスト 画像の輝度を調整します。
- 2) シャープネス 画像の鮮明さを調整します。
- 3) カラーゲイン 画像の色合いを調整します。
- 4) 3Dノイズ
リダクション 静止する被写体を鮮明に映し出す機能です。
通常は「自動」を選択します。
- 5) 2Dノイズ
リダクション 動く被写体を鮮明に映し出す機能です。
通常は「自動」を選択します。
- 6) DWDR 映像各々の明るい場所・暗い場所を特定し、最も適した映像へ調整します。

⑤ ビデオ設定

※重要

メニュー項目の「高画質フォーマット」でカメラの規格・仕様を決定し、「せいしき」でカメラ解像度を設定します。
接続先のレコーダーに合わせてこの項目を設定して下さい。
また、AHD・CVI・TVI設定で

1080P30
1080P25
720P30
720P25

など下二桁の数字が異なる設定がありますが、設定は大差はありませんのでどちらでも結構です。

⑥ 言語

メニュー表示の言語を変更します。

⑦ リセット

設定を初期化します。

⑧ 保存・退出

変更した設定を保存し、メニュー画面から抜け出します。

⑨ 退出

メニュー画面から抜け出します。

16. カメラ外観図

▼ 筒型 : ES-CW699HW/V

●外観・寸法

単位:mm

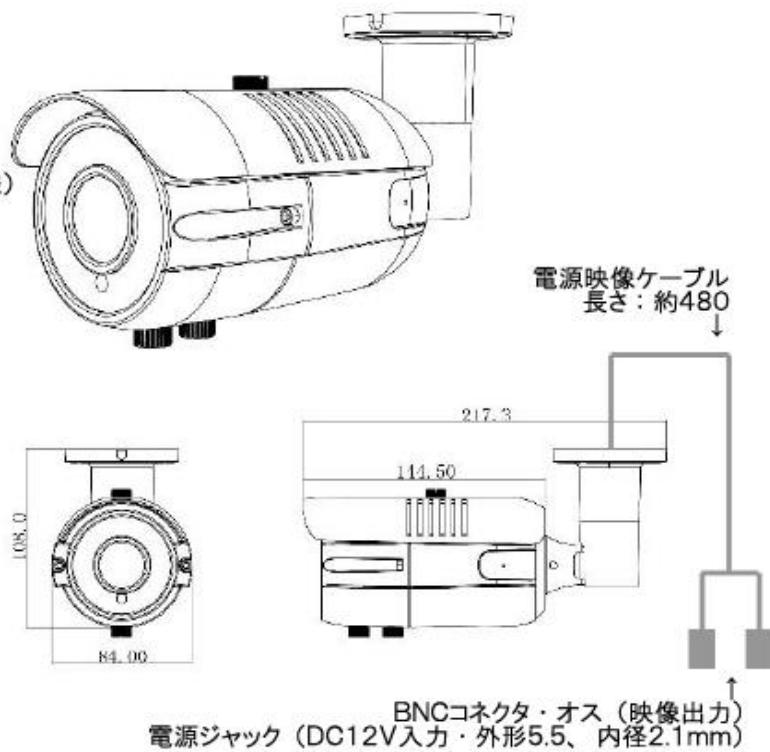
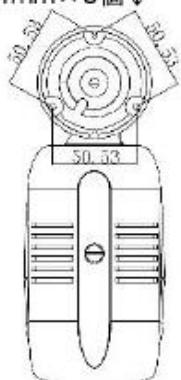
材質：アルミニウム合金

重量：520g

色：ホワイト

防水規格：P66（防滴防塵仕様）

ビス穴：4mm×3個↓



電源映像ケーブル
長さ：約480

BNCコネクタ・オス（映像出力）
電源ジャック（DC12V入力・外形5.5、内径2.1mm）

▼ ドーム型 : ES-CD600HW/V

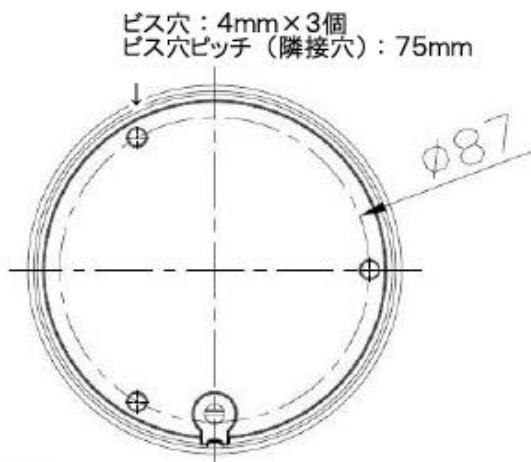
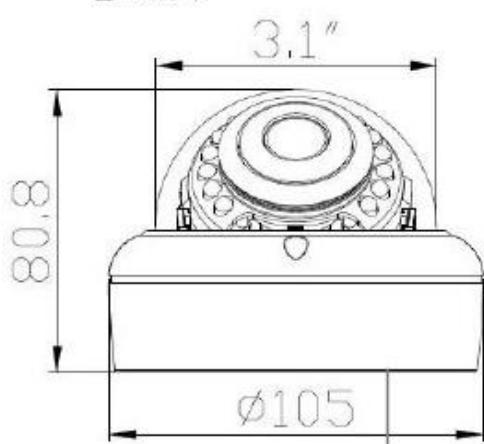
●外観・寸法

単位:mm

材質：アルミニウム合金

重量：

色：ホワイト



←BNCコネクタ・オス（映像出力）
電源ジャック（DC12V入力・外形5.5、
内径2.1mm）

17. カメラ仕様

防犯カメラ／4INマルチシステムタイプ				
型番	ES-CW699HW/V	ES-CD600HW/V		
外観				
ボディーカラー／形状／材質	ホワイト／筒型／アルミニウム合金	ホワイト／ドーム型／アルミニウム合金		
設置可能箇所	屋内・屋外／IP66（雨ざらし対応）			
赤外線LED・投射距離	42灯・15m	15灯・10m		
搭載レンズ	2.8~12mm（画角自由・パリフォーカルレンズ搭載）			
被写体識別目安距離	2~15m			
画角範囲	アウト最大：水平86° 垂直55° / イン最大：水平24° 垂直13°			
CCD／F値	1/3' CMOS / 画像明るさ指標2.0（標準）			
対応システム	1 AHD 1080P 720P ※ ·1080P=200万画素	2 CVI 1080P 720P ·720P=92万画素	3 TVI 1080P 720P ·960H=46万画素	4 アナログCVBS 960H/NTSC
ビデオ・音声信号出力形式	●映像：NTSC / CVBS（コンポジット映像信号） / 1Vp-p:75Ω	●音声なし		
各種レベル調整	電子シャッター1/60sec / 映像レベル調整：自動手動 / 色彩調整：自動手動			
電源／電流／電力	DC12V / 1A / 12W			
寸法・重量	別項・「外観・寸法」参照 / 520g	別項・「外観・寸法」参照 / 335g		
使用温度範囲／湿度	-5 °C ~ +40 °C / 85 %以下（結露しないこと）			
付属品	日本語取扱説明書・保証書・ビス関連 / アダプタ・ケーブル別売（レコーダーセットは付属）			
製品保証期間	3年間			

18. アフターサービスについて

1. 日頃のお手入れについて

6カ月に1度は、本機外観の清掃をお願い致します。

2. 本機に異常が見られたとき

- ① 保証期間内に異常が見られた場合は、別紙保証書の保証規定をご覧下さい。
- ② 保証期間外に異常が見られた場合、一度当社へご連絡をお願い致します。
当社は安価型システム販売専門としている為、安価型商品を修理致しますと、以下のような項目の費用が発生し、最終的には新品価格と同等になります。
 - 1) 修理部品（症状により様々）
 - 2) 修理工賃
 - 3) 諸経費
 - 4) 配送費

従いまして、原則修理は受け付けておらず、新品への更新をお勧めしております。
但し、不具合の症状の中には本機異常以外の理由で、

例1 : 映像にノイズ発生。
⇒実は、コネクタ接続部の接触不良で本機には問題なし。

例2 : 映像が映らなくなった。
⇒実は、モニターの電源が付かなくなっていた。

という事もございますので、機器点検は当社にて受け付けております。
お客様より当社への発送費用は元払い（お客様のご負担）でお願い致します。
以下に、軽微な症状例を明記致します。

例1 : ケーブル類の接触・断線寸前（カメラ関係でよくある症例）
⇒ 修理可能

例2 : 内部バッテリー、HDD異常（レコーダー関係でよくある症例）
⇒ 修理可能

このように、軽微な症状ですと修理は可能です。
点検ご依頼の際は、点検結果をご報告し、軽微な症状に対する修理が可能と判断させて頂いた場合は、お見積り金額も提示させて頂きます。
点検対象商品を当社からお客様へお送りする際の費用は、お客様ご負担でお願い致します。
尚、点検は無料にて行っております。

廃棄物処理は受け付けておりませんので、当社へお送りして頂いた商品は必ずご返送させて頂きます。

代替機の貸し出しは一切行っておりませんので、予めご了承下さい。

3. その他ご不明な点に付きましてはお問合せ下さい。

合同会社エレックスシステム TEL : 045-317-9873
 FAX : 050-3156-3747
 e-mail : info@elexsystem.co.jp

修理のご依頼や保証期間内のご返送先は、
保証書・納品書に"記載してある住所ではありません。"
ご依頼・保証ご請求の際はメール・お電話にてお問合せ
下さい。別途ご案内致します。

Copyright © ELEX SYSTEM. All Right Reserved.